

# 健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 10944
お名前	楯石 光弘
性別	男
年齢	55歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

地元のJAに25年間勤め、合併の機会に他にやるべき事があると考え、希望退職しました。第二の人生のテーマとして、父の60代での病死と自分の病気体験から、「いかにすれば健康になれるか」について幅広く勉強、実践してみたいと思いました。その時、「健康管理士一般指導員」という願ってもない資格がある事を知り、これを取得すれば社会的にも説得力があり、また何かしら社会貢献もできると思ったからです。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

講座の範囲、内容が幅広いのには改めて驚かされました。自分のこれまでの知識が断片的で片寄っていた事を認識し、また医学の常識も時代とともに変わるものもある事を実感しました。当時の受験会場は仙台はなく、都合により大阪まで苦勞して行き、そして合格通知を頂いた時はとても嬉しかった事を憶えています。

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

地域の社会福祉協議会よりの要請で、ミニデイサービスにおいて、老人の方々を対象に民謡入りの健康講話をロングランで行いました。そして何より自分自身が「健康管理士」を自覚する事により、自然に家族も健康に気をつけるようになり、より健康になった事が何より有難い事だと感じています。

その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

継続して学べる事は本当に素晴らしい事だと感じています。医師免許等、問題になっている昨今、すべての資格は本物の実力が大切な時代だと思います。私は、地方にいるので地方での講演会の開催や、健康管理士会の必要性も感じております。今後ネットのさらなる有効活用、そしてこの資格が増え、社会的価値や地位が高まり、予防医学が広まり国民がより健康で幸せになる事を願って止みません。私のブログ「毎日がスローライフ！」の中、健康管理士のコーナーで一部紹介しております。よろしく願います。